

学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 令和3年7月7日（水） 5校時（13：30～14：15）

2. 議題 「ありがとうプロジェクトで4年生にありがとうをつたえよう」

学級目標

いつも げん気

いつも えがお

いつも やさしく

〇年〇組

3. 議題について

（1）児童の実態

初めてのクラス替えを経験して3ヶ月が経った。4月当初は緊張してなかなか自分を出せずに過ごしている様子も見られたが、徐々に学級に慣れ、自分らしさを出せるようになってきた。素直で気持ちが優しく、友達に親切にできる子どもたちが多い。また、当番活動や係活動などに対して意欲的に取り組もうとする姿もたくさん見られる。今年度からGIGA端末が導入されたことで、全員の意見を可視化できるようになり、互いの意見を比べることに慣れてきた。一方で、昨年度は臨時休業やその後の感染症予防等で、友達と顔を突き合わせて話し合う経験が少なかった。その為、自分の意見を発信することにまだ慣れていない様子がある。挙手をして発言する場面では、自分の意見をもっていても自信をもって発言できなかつたり、深く考えずに友達の意見に流されてしまったりする場面もある。

学級目標は、どんなクラスにしたいのかということをも2年生なりに考え、話し合い、みんなで決めた。「げん気」には1年間心も体も健康に誰も欠けることなく過ごしたいという思いがある。「えがお」は学校の中で学習や遊びの中でたくさんの楽しい時間を共有したいという思いがある。そして「やさしく」には、クラスの仲間にも住吉小にいる他の仲間にもいつも親切でいたいという思いがある。三つの言葉について「いつも」は、継続して1年間この姿でい続けたいという気持ちを表す言葉として子どもたちが考え付けたものである。子どもたちが学級目標を意識しながら学校生活を送ることができるように毎月の生活の振り返りや、話し合いの場面で事あるごとに意識するよう声をかけたり、できている場面を見つけて、教師が率先して称賛したりするよう心がけている。

話し合い活動は、今回で6回目である。3回目で「ウーバースマイルプロジェクトの内容をきめよう」4回目は「ありがとうプロジェクトでどんなことをやるかきめよう」、5回目は「どうすればありがとうが広がってみんなが笑顔になるのか考えよう」を議題とし、話し合ってきた。1回目の学級会では、教師が司会グループの役割をし、話し合いのやり方を確認しながら進めた。2回目の学級会からは、子どもたちが司会グループを務めている。司会グループは名前順の輪番制にして、どの子も経験できるようにしている。それぞれの学級会で司会グループを務める子どもたちは、学級会の話し合いでは、自分の考えをもちながらもその思いを発言できない子どもたちが多いと感じているが、話し合っただけの決めたことを、みんなでやり遂げる楽しさと大切さは感じ始めている。話し合いのめあてに合った自分にとってもクラスのみんなにとってもよい意見に対して合意形成ができるように指導している段階である。

(2) 議題選定の理由

代表委員会より、昨年度に引き続き全校で取り組んだ「ウーバースマイルプロジェクト」で、笑顔を広げていこうという議題が出された。そこで、2年3組では、友達にありがとうを自然に言うことで学級みんなに笑顔を広げ、学級目標の「いつも元気いつも笑顔いつも優しく」に近づこうということが決まった。さらにありがとうを伝える方法としてありがとうカードを渡すことが決まり、取り組みを始めた。しかし1週間経つと、「ありがとうカードがもらえなくて悲しい。」「ありがとうを言う場面が見つからない。」という声が上がった。そこで学級会を開き、「どうすればありがとうでみんなが笑顔になるのか」を話し合い、「友達のすてきなところを見つければもっとありがとうが増える」という気持ちをもつことを全員で確認し、活動を再開した。さらに、ありがとうカードを掲示していくことで目に見えてカードが増えていく様子から、感謝の気持ちが学級全体に溢れているという実感が生まれ、より活発にありがとうを伝えあう場面が生まれた。約3週間の活動を通して子どもたちの中に「ありがとうを言ったり言われたりすると気持ちが良い。」という意見や「クラス以外にもありがとうを伝えたい」という意見が出てきた。そこで第6回の学級会で議題として「ありがとうプロジェクトをこれからどうしていくか」を挙げ、話し合いを行ったところ、「今度はなかよし班でいつも楽しい活動を考えてくれたり、協力してくれたりする4年生にありがとうを伝えたい」という結論になった。そこで「4年生にどうやってありがとうを伝えるか」を本議題として設定した。本学級会では、友達の意見を認め合ったりそれぞれの意見の良さを比べあってつなげたりまとめたりする大切さに気づいてほしい。また今回の活動全体を通して、友達の良いところを認め合うことの良さに気づき、学級のつながりを深めてほしい。

4. 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）
6月	・代表委員会から出た議題をもとに話し合ってきた「ありがとうプロジェクト」をすすめる	○積極的に活動している児童を称賛する。 ☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (主体的態度)
6/29 朝の会	・「ありがとうプロジェクトの振り返りをする。	○今後の活動に生かすための内容がふり返られるように、子どもたちの活動や発言を称賛する。
6月下旬	・議題箱に「今度は4年生にありがとうの気持ちを伝えたい」という議題が入れられる	○事前に話し合い活動の意味について学級全体に指導する。
7/2 (金) 中休み	・司会グループで議題を決定する	○議題選びの視点を確認し助言を行う。
7/5 (月) 中休み	・司会グループと提案者で、話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1 ・指名司会1 ・黒板記録1 ・ノート記録1	○今回の学級会では何を大切に話し合いたいかを司会グループと一緒に考える。 ○司会、記録などの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆教師とともに、話し合いの進め方、話し合いのめあてを考えている。 (思考・判断・表現)
7/6 (火) 朝の会	・学級会で話し合う議題を伝える。	○みんなに話し合う内容や提案者の思いを伝え、 ☆議題に対して関心を持ち、よりよい学級生活をつくろうとしている。 (主体的態度)
7/6 (火) 帰りの会	・オクリンクを使い、自分のアイデアを出す。	○話し合いのめあてに沿ったアイデアを書けるようにする
7/7 (火) 朝の会	・アイデアの内容について質問し合い、自分の考えを「学級会ノート」に記入する。	○アイデアの内容について、共通理解を図るようにする。 ○一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○オクリンクに書かれたアイデアからより話し合いのめあてに近付けるものを選び、自分の考えとして書く。 ☆話し合いのめあてと自分の考えをもっている。 (知識・技能)
7/7 (木) 中休み	・司会グループで話し合いの進め方について確認する。	○出された意見から話し合いのめあてがもてるように助言する。 ☆話し合いの活動の準備の仕方や進め方を理解している。 (知識・技能)

(2) 本時の活動

①ねらい 4年生に感謝の気持ちが伝わる活動を話し合っで決めることができるようにする。

②活動計画

児童の活動	評価（☆）と支援（○）
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「ありがとうプロジェクトで4年生にありがとうをつたえよう」</p> <p>4. 提案理由の説明 「ありがとうプロジェクトをとおしてクラスのなかに笑顔がふえました。こんどはいつもなかよし班でたのしい活動を考えたり、協力したりしてくれる4年生にありがとうをつたえたいと思いました。」</p> <p>5. めあての確認 「みんなが4年生をえがおにするためにありがとうの気持ちをつたえられるかどうを考えよう。」</p> <p>6. 決まっていることの確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">4年生にありがとうをつたえる</div> <p>7. 話し合い 「どんな活動を行うのか」 ① 出し合い（事前に行っておく） ② くらべ合い ③ まとめる</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 認め合いタイム</p> <p>10. 振り返り</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12. おわりの言葉</p>	<p>○安心して会が進められるように、助言する。</p> <p>○前回までに決まっていることを黒板に掲示しておく。</p> <p>○話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり決定したりするように助言する。</p> <p>○司会が話し合いの進め方などでつまずいた時には、話し合いの進め方のカードを見るように助言する。</p> <p>○話し合っている内容が逸れてきたら、めあてを意識して話し合っで決定するように助言する。</p> <p>☆ありがとうを伝えられる内容はどれがよいか理由を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。 (思考・判断・表現)</p> <p>☆司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (思考・判断・表現)</p> <p>○良かった点や議題について自己評価し、友達の良かった点などについて相互評価できるように助言する。</p> <p>○話し合いのめあてや学級目標を意識した意見、みんなが納得できるような意見や態度、司会グループの頑張りなどを称賛する。</p>

③ 本時の視点

・ありがとうを広めるために、クラスみんなができるものについて考えながら話し合いをすることができていたか。

④板書計画

おわりのことば	先生の話	ふりかえりタイム	きまったことのか	○ありがとうカード ○プレゼントを作 ○手紙を書いて4	はなしあい	話し合いのめあて みんなが どうを考えよう	ありがとうプロジェクト がいあんりゆうの	ざだい	しかいグループの	はじめのことば	だい七回 学びゆ
---------	------	----------	----------	-----------------------------------	-------	-----------------------------	-------------------------	-----	----------	---------	----------

う動があ
 ををが
 つ考ふ
 たええ
 えたり
 たいま
 いし、
 と協こ
 思力ん
 いたし
 したど
 。は
 くれい
 るつ
 4も
 年な
 生か
 によ
 にし
 あり
 がた
 との
 活活
 顔に
 とあ
 り
 が
 とう
 を
 伝
 える
 。
 ☆あ
 り
 が
 とう
 を
 伝
 える
 た
 め
 に
 進
 ん
 で
 行
 動
 し
 て
 い
 る
 。
 (主
 体
 的
 態
 度)

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
7 / 8 (水) 朝の会	・活動に向けて役割分担をする。	○これまでの経験を生かして、必要となる役割を考えて全員で分担できるようにする。
7 / 9 ~ (金)	・役割ごとに準備をする。	○積極的に活動している子どもを認め、周りにその姿を広めていくように声をかける
7 / 15 (木) 短時間学習	・4年生にありがとうを伝える。	○4年生のために協力して活動している子どもを称賛する。 ☆ありがとうを伝えるために進んで行動している。(主体的態度)
7 / 16 (金) 朝の会	・活動の振り返りをする。	○自分の態度をふり返りながら、友達のよいところを認められるようにする。 ☆ありがとうを伝える活動の成果と課題を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしたりしている。(主体的態度)